



つれづれに想う

三喜電設株式会社 取締役会長 小畑ミユキ



現役から離れ、経営についての物書きは難しく、書きたい内容がなかなか思い浮かばない。「う～ん」と唸るばかりである。世間ではリタイアしてから、自分が何をすればいいか、どう過ごせばいいか分からないと迷っている人が結構多い。皆様はどのようにしておられるのでしょうか？

現在は、弊社の会長として在席する傍らFWN交流会・(社)大阪能率協会・「ATC日曜自然工作」・「里山の山野草を育てる会」などに参加している。

ことの始まりは21年前に女性経営者対象の大阪産業開発研究所主催のセミナーに参加したことである。業種が電気工事業だったので、周りは男性ばかりであった。同業者の仲間に入れていただき、いろいろなことを教えてもらったが同業種の女性経営者は全くない。女性経営者に興味もあり知り合いになりたいという願望もあった。それがセミナーを受講した動機である。その後セミナーの受講者達でFWN交流会をたち上げた。仕事に対して自信を持ち優しさとしたたかさを兼ね備えた女性達で、職種が違ってもお互いに経営・経済・悩みなど分かち合える仲間である。

FWN交流会をたちあげた翌年に、(社)大阪能率協会の理事さんからお誘いを頂き当協会に入会して現在に至っている。そこには大企業をリタイアした方や、多種多様の業種の会員様との出会いがあり、私にとってはさまざまな体験が得られ有益な場である。

今から振り返ってみると、50歳後半の年齢からリタイア後は何をしたいかを考え、分からなければ思い浮かぶものを分からないままに、いろいろ挑戦したものである。10年位焦らずに継続してやれば何となくスムーズにいくのではと考えている。

リタイアしてから、私にとってのシニア自然大学校との出会いは最もラッキーであり豊かなシニア人生の開幕でもあった。万博公園へ家族と遊びに行った時、「シニア自然大学校へ入学しませんか」と声をかけられ、「えっ。私がシニア？シニアって何歳からですか？」と思わず問いかけた。私の顔をじっと見て「55歳からかな！」「いやゴルフでは45歳からや！」とこのトンチンカンの間答に、心の中で笑って入学することを即決した。入学してからびっくり、28歳の彼女から70歳の彼まで幅の広いシニア仲間であった。要するに年齢に関係なく、好奇心とチャレンジ精神を持っている人が大半である。

卒業してから、「ATC日曜自然工作」（低学年の子供さんに自然素材を使った工作を教える。）、「里山の山野草を育てる会」（木や竹を切り山野草を育ちやすい環境にする。）のサークルに入った。

これからも新しいことに興味を持ち、何事にも挑戦する勇気を持ち続けていきたい。

プロフィール

昭和55年 三喜電設代表取締役社長に就任

平成17年 代表取締役社長を退任し会長に就任

現在に至る

事業内容：

地方自治体の上下水道プラントの電気設備工事
一般産業、ビルの受変電設備及電灯動力電気工事
当協会の常任理事